

佐賀県支部だより

力武 修

はじめに

佐賀県支部は会員数少なく、支部としての活動もありません。数年前までは会員数ももっとあったようですが、退会された先生もいらっしゃいます。佐賀県には透析施設は28あります。大学病院1、公的病院5、私立病院9、診療所13です。そのうち、日本透析医会に加入しているのは、私立病院2、診療所3の5施設で、未加入施設が23もあります。

1 佐賀県人工透析懇話会

日本透析医会佐賀県支部としての活動がないかわり、今年の2月で第56回と約20年以上の歴史のある、佐賀県人工透析懇話会があり、年2回、2月と7月に開催されています。懇話会の前に施設長連絡会議があり、実務的な話し合いが行われます。懇話会では各施設よりの発表、特別講演などがあります。ちなみにこの2月の会では、危機管理、患者データ管理、人工炭酸泉浴、リドカインテープなどの一般演題と、経皮的血管形成術の動向についての特別講演がありました。一般講演はスタッフの発表が多く、スタッフの参加も多く盛会です。できれば、この懇話会が佐賀県支部の活動になったらよいと思いますが、日本透析医会へ加入している施設が少なくむつかしいのが現状です。

2 佐賀県の透析事情

平成15年12月31日現在の佐賀県健康増進課がまとめた資料では、佐賀県内の血液透析患者数は1,533名、CAPD患者数は29名です。透析施設は28、透析装置の台数は660台で、血液透析患者数・台数はこの10年間で約2倍になっています。血液透析患者のうち60歳以上が63%、入院患者数は207名(13%)です。

夜間透析実施施設は12施設、夜間透析の患者数は251名(16%)です。県内の従事職員数は医師64名、看護師283名、その他70名の合計417名です。

3 今後について

日本透析医会は医療現場にかかわる活動をされていて、シンポジウム、感染対策や事故防止のマニュアルはすばらしく、また保険診療と審査、医療廃棄物など問題山積していますので、もっと日本透析医会の活動を広める必要があると感じています。

今後は、加入施設を増やすのが課題です。そのためには加入しやすいシステム、加入してよかったと思える活動内容が必要です。現在の会費のシステムでは加入の勧誘もしにくく、できれば日本透析医学会のような会費システムがよいのではと個人的に思っています。ご検討をお願い申し上げます。